

Spire_M

中学・高校版

P.2 **長唄の世界**

長唄佐門会 三代目 杵屋 佐喜

P.4 **私が考える今日の音楽科教育**

大和市立渋谷中学校教諭 平石 孝太

P.8 **ソルフェージュにおけるリズムパターンの学習法**

作曲家、東京工科大学非常勤講師 鈴木 一真

P.10 **With My Heart 稽古場を訪ねて**

邦楽囃子笛方 福原 徹

P.12 **KOBEYA通信 第1回**

教育出版



長唄の世界

長唄^{さもん}佐門会 三代目 杵屋^{きねや} 佐喜^{さき} さん

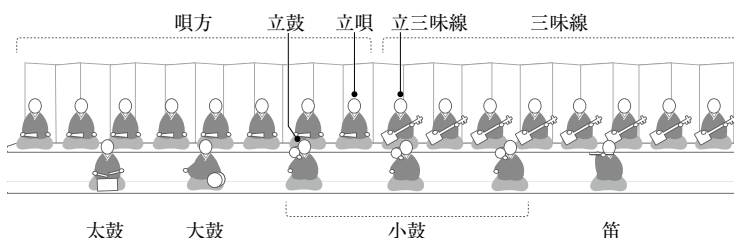
皆さま初めまして、長唄演奏家の杵屋佐喜と申します。普段は長唄の唄方として演奏会、歌舞伎公演、日本舞踊会、NHK などに出演し、唄を唄う仕事をしています。父方は代々長唄の家系ですが、母はジャズピアニストでした。今でも和洋に関わらずクラシックやミュージカルも大好きです。ちなみに大学時代は声楽を専攻しオペラの勉強もしました。好きな歌手はホセ・カレーラス。長唄の演奏家としてはかなり珍しい経歴と思いますが、私のそんな経験から少し「長唄」についてお話をさせていただきたいと思います。



演奏配置～立三味線はコンサートマスター兼指揮者!?

オーケストラも古典配置や通常配置など多少の違いはあれど基本的には配置が決まっているのと同じで、長唄も舞台下手に唄方、上手に三味線方、その前方に下手から太鼓、大鼓、小鼓、笛と、基本的には配置が決まっています。音響から言えば器楽より歌手が前にいる方がお客様には歌詞の内容も聞こえやすいと思うのですが、何故でしょう…？ 江戸時代からずーっと変わらずこのスタイルなのです。そして各パートの一番舞台中央に近い唄方、三味線方を「立」と呼び「立唄」「立三味線」となり、囃子方では鼓奏者が「立鼓」としてそれぞれパートリーダーの役割を担います。

ちなみに各セカンドパートは「脇」と呼び「脇唄」「脇三味線」「脇鼓」となり、人数が増えるにつれて三枚目、四枚目、五枚目…という呼び方^{わき}になっていきます。三味線は一挺二挺と数えますが、長唄の最小編成は三味線二人に唄一人の「二挺一枚」。



そこからは基本的に唄方と三味線方が同人数となり、歌舞伎公演では多い時には「十挺十枚」に囃子を入れて総勢 30 名近くで演奏します。また時には演奏会で 100 名を超える人数で一斉に演奏することもあるのですが、合唱と合奏でこれはもう、迫力満点です！ さて、ちょっと専門的なお話が多くなってしまいましたね。それではいよいよ、役割や編成が分かったところで長唄の演奏を始めてみましょう！ 深呼吸して、さあ指揮者の合図を待って…ん？ 指揮者…？ そうなのです。長唄には指揮者がいないのです！ しかも横一列に並んでいるため、演奏を聴いた人は「横も見ないでどうやって大勢で音を揃えているの？」と首を傾げます。実は、長唄の指揮者は、三味線のパートリーダーである「立三味線」が担います。例えるならコンサートマスターをやりながら指揮者もやるような…すごい役割ですよ。この立三味線の「フッヨ！」とか「ハッ！」などの掛け声や息を合図に、時に立唄や立鼓のパートリーダーも演奏のキッカケとなり、曲によって様々な息のキャッチボールを行いながら演奏を進行させていきます。こうなるともうジャズです。今どのパートが演奏の主導権を握っていて、誰がリズムのキッカケを出したのか？ なんて考えながら聴くのもハラハラして面白いですよ！

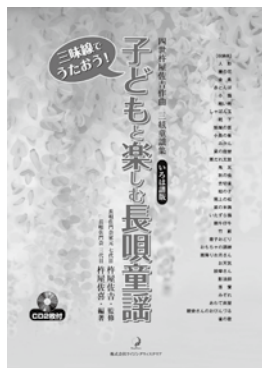
長唄に発声法はない？！

私は学生時代声楽を専攻し、ベルカント唱法でイタリア歌曲、オペラアリアなどを勉強しました。そのため、長唄のプロとなる際には周りからは揃って「発声法が違うから難しい」という声を掛けられました。まずハッキリと結論から言います。実は長唄には「発声法」なんてありません！ 両方学んだからこそ本当にそう実感しています。そもそもベルカント唱法というものは身体の小さいイタリア人がより大きく美しい声を出すために編み出した唱法で、極端に言えば歌詞が聞き取れなくてもテノールの美しい high-C にはブラーボ！ ですね。逆に日本という国は、壁に耳あり障子に目ありという長屋文化でしたから、大きい声を必要とせず、口を大きく開けなくてもコミュニケーションが取れる言葉、文化が発達しました。「Buon Giorno！」と「おはようございます」のイントネーションを比べてみると分かりやすいかもしれません。そのため日本の音楽では「美しい声」よりも「美しい言葉」が優先され、文学としての要素がより大切にされてきたと考えます。いくら美しい声でも「さ～く～ら～♪」が「さ～こ～ら～♪」となってしまうと、日本語ではなくなってしまうですね。あくまで「さくら」です。発声法ありきではなく、イタリア語にはイタリア語の歌い方、フランス語にはフランス語の歌い方があるように、それぞれの国の風土、言葉の文化があってこそその「発声法」なのです。つまり、長唄は日本語ですから、変に声を作るのではなく、日本人であればその人が本来持っている自然な「声」そのものが最も長唄に適した「発声」であると言えるのではないのでしょうか。先生方には長唄の発声法に先入観を持つことなく『日本語を大切に唄う』ということが何より正しい長唄の発声法であることを前提に、長唄の魅力を子どもたちに伝えていただけたらと思っています。

長唄童謡の世界

私は2017年に曾祖父・四世杵屋佐吉が大正～昭和にかけて作曲した子ども向けの童謡をまとめた『三味線でうたおう！子どもと楽しむ長唄童謡』を出版いたしました。作詞には野口雨情や北原白秋などの作家が参加しており、子どもたちに伝えたい「美しい日本語」の魅力が詰まった作品集です。私は授業のために数回の研修で学ぶ「勸進帳」よりも、このような童謡に込められた日本語の美しさ、動物の描写、四季の美しさなど、まずは先生方が教えやすい形で、押し付けではない日本音楽の魅力を子どもたちに伝えて頂くのが望ましいのではないかと考えております。

私が行なっているワークショップでも、子どもたちはいきなり長く難しい曲を聴くよりも、童謡は一度聴けばすぐに歌えるようになります。歌詞にはかわいい動物たちも沢山出てくるので、カエルの鳴き声や鳥のさえずりを奏でる楽器を用意して参加してもらったり、楽器がなければきつとクラスに一人は動物の声真似の得意な子どもがいるはず！？ 最後にはみんなが笑顔で大合唱となります！



四世杵屋佐吉さんが大正～昭和にかけて作曲した
子ども向けの童謡全33曲をまとめた

『三味線でうたおう！子どもと楽しむ長唄童謡』

(CD2枚付。いろは譜版と文化譜版があります。)

お問い合わせは株式会社ライジングウィステリアまで
(FAX 03-3749-1443 / E-mail: info@r-wisteria.co.jp)

私が考える 今日の音楽科教育

大和市立渋谷中学校教諭 平石 孝太

新学習指導要領の完全実施を控え、音楽科の先生方は「子どもに身に付けさせる資質・能力」について再考されているのではないのでしょうか。資質・能力が三つの柱として整理され、コンピテンシー・ベースの学力感によるカリキュラム・マネジメントを学校単位で図る中で、各教師は教科指導の見直しが求められています。音楽科の目標が、「音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中にある音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す」こととなりました。『新学習指導要領 解説 音楽編』では「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などに関連付けること」が示されています。また、「指導に当たっては、生徒が音楽的な見方・考え方を働かせることができるような場面設定や発問など、効果的な手立てを講ずる必要がある」と、指導上の留意点が示されました。これらは体験的な活動を通して、感性と知性の両方を働かせて対象や事象を捉えることの重要性を指摘しています。以上を踏まえ、これらを実現するために、内的聴覚を利用する授業実践を推奨します。私が勤務校で実践している授業展開の一部をご紹介します。

内的聴覚を生かした授業

私は子どもへアプローチする方法として内的聴覚を軸にした授業を実践しています。音楽的な内的聴覚は、音楽活動を得意とする人にとっては日常的に行う行為です。しかし子どもの実態は、無意識でできたり、できても使わなかったり、それ自体を知らなかったりという現状です。

内的聴覚とは

内的聴覚とは、頭の中で起きる音楽活動であると考えます。それは頭（記憶）の中の音楽を聴くだけでなく、そこで歌い、演奏し、作曲するまでを含めるからです。アンサンブルでは曲中に相手の演奏を内的聴覚で予想しながら、即興的に自分の演奏を方向付ける技能として使います。同義語では内的聴感、内的聴取力、インナーヒアリングなどがあり、これらは既に音楽用語として使われている傾向です。

ステップ 1

<イメージをもつこと／イメージをもたせる方法>

「イメージをもつ」こととは、内的聴覚で自分の表現や音楽を具現化することと考えます。子どもには言葉や感情のイメージだけでは、音楽的な「イメージをもつ」ことにはならないことを指導します。

まずは、頭の中で音を出したり聴いたりする行為があることを教えます。例えば「おはよう！」の挨拶を、家族や友達の声で頭の中で再現させます。ここでは記憶を頼りに声色や言い方を再現させることをねらいとします。

次は、短いフレーズを内的聴覚で「イメージ」させます。例えば既存の曲の4小節程度を弾き語り、それを内的聴覚での模倣で再現させ、それを頭（記憶）の中の音楽として聴かせます。最初は「鼻歌」程度の再現を聴かせることで十分ですが、徐々に音色や演奏表現の再現までを聴かせるように訓練します。このように音や音楽を抽象的な対象とさせず、頭（記憶）の中でイメージされる実際の音や音楽として成立させていきます。なお、優秀な人は、レコーディングを返すくらいのリアルな再現ができるそうです。

<イメージを覚えられない>

一般的な原因が二つあると思います。一つ目は、そもそも聴いた音楽自体を覚えられないことです。この場合は聴く音楽を短いフレーズに絞ったり、聴きやすい声部を焦点化したりして、聴音の段階を踏む必要がある例です。子どもが苦手意識を持つ前に、簡単な課題で聴音に慣れさせることが望まれます。二つ目は、頭（記憶）の中の「イメージ」が薄れていくことです。例が学校から離れますが、レッスンで聴いた師匠の演奏が、日が経つにつれて薄れたとします。この場合は改めて師匠の演奏を聴き「イメージ」を更新するしかありません。更新された「イメージ」を聴くことの繰り返しで、師匠の演奏が弟子に定着していきます。学校では教師の実演や、音源での範奏や範唱、それに鑑賞教材などが師匠の演奏にあたります。教師は聴取活動に意味やねらいをもたせるために、演奏曲目や内容、そして聴取させるタイミングを吟味する必要があります。

ところで頭（記憶）の中の師匠の演奏が実際よりも美化されることがあります。この場合は改めて師匠の演奏を聴き、膨らんだ「イメージ」を更新して修正します。この繰り返しで弟子は演奏表現の幅をつかんでいきます。なお、優秀な弟子は、美化された演奏を実現するために研究を重ねて、自らの技能を未知の世界へ高めることとなります。

<イメージが沸かない／イメージが混ざる>

ここでの「イメージ」は、ゼロから音楽を生み出すことではありません。「イメージ」が沸かないと考える子どもは、活動内容を理解していない可能性があります。いずれにせよ、もう一度**<イメージをもたせる方法>**に戻ることが大切です。

内的聴覚でさまざまな演奏を照らし合わせていくと、それぞれの「イメージ」が混ざることがあります。その場合は改めてそれぞれの演奏を聴いて、オリジナルの姿を整理します。次のステップアップは、内的聴覚で多様な演奏表現を掛け合わせたり、自らの創意工夫を試みたりして、新たな「イメージ」を生み出すことです。

ステップ2

<イメージを実際に演奏する／イメージと演奏表現をつなぐ>

内的聴覚で仕上がった「イメージ」に「実演」でなぞります。その方法は、頭（記憶）の中の音楽を聴きながら、同時進行で実際の演奏を合わせるのです。部分的に英語のシャドーイング程度に実演が遅れることがあっても構いません。

内的聴覚の「イメージ」を演奏表現とつなげます。題材を「浜辺の歌」（林古溪作詞、成田為三作曲）としましょう。教師がA部を、音色、フレージング、強弱の演奏表現に注意して弾き語ります。子どもは内的聴覚で曲想や演奏表現を含めて再現します。次に内的聴覚での再現を曲想や演奏表現を含めて試唱します。最後に内的聴覚で再現した歌（イメージ）と、実際に試唱した歌（歌唱）を照らし合わせます。その際、両方が同じ演奏表現となるように一致させていき、「浜辺の歌」の演奏表現を追究させることが大切です。このように、「イメージ」へ「実演」を近づけることを練習と位置付けます。

<イメージと演奏表現がつかない>

この時点で子どもに見られる原因は、「イメージ」の仕上がり甘い、「イメージ」を表出する技能が追いつかないかではないでしょうか。合唱では「イメージ」が全体化されていないこともあります。ここでは子どもたちに「何をさせたいか」という教師の的確な指導力が問われます。教師は子どもたちと対話的に関わり、子どもが何に困っているかを分析し、これまでの学習と関連付けたアドバイスをすることが求められます。

最後に

ここまでを積み重ねると、子どもはふさわしい歌唱表現を自分たちで創意工夫するために、身振りを交えたり歌ったりしながら、「イメージ」と「歌」を対象にして批評しあうようになっていきます。これは子どもがこれまでに身に付けた技能を得たり生かしたりしながら、思考・判断・表現をして、必要な技能を身に付けようとする準備ができたといえます。また、子どもは、一条乱れぬ合唱を目指したり、個性的なアゴーギクやデュナーミクで独創的な世界を創ったりします。教師は子どもの学びを解釈するために、子どもが発想や独創性を、言葉や音楽で表そうとする瞬間に気づき、楽譜や範唱を手立てとした「思いや意図」を考えさせることが大切です。ここでは内的聴覚での音響的なイメージ（音程や強弱などの知覚）を育成し、それを授業で利用する例をご紹介させていただきました。更なるステップには、ここまでを活用しながら、各領域や常時活動を有機的に関連させた授業を展開し、音楽的なイメージ（感受性を軸に音楽を意味のある表現として追究するもの）までを育成する必要性をお伝えさせていただきます。

内的聴覚の育成を常時活動で支える

音感教育

内的聴覚と音程感覚を結びつけます。まずは一音ずつ手の高さで音程を表しながら、ハ長調を階名唱します。これは階名唱と手の高さの音程感覚を一致させることが狙いです。次に内的聴覚でハ長調を階名唱します。これは手の高さの音程感覚と、内的聴覚の音程感覚を一致させることが狙いです。この一連を常時活動として続けていくことによって、実際に歌う音程感覚と、手の高さで表す音程感覚と、内的聴覚で歌う音程感覚が近づきます。これが子どもの音感教育を進めることにつながります。

内的聴覚を即興的な創作へつなぐ

「呼びかけと答え」の構成を柱とした常時活動です。将来的には呼びかけに対して、答えを即興的にレスポンスする力を身に付けることが狙いです。そのためにはアンサンブルでの内的聴覚の使い方が必要となります。次ページのように段階を踏み、3年間のスパンで手がけていきます。
(弘前大学 清水稔先生にご助言をいただきました。)



サンクト・ペテルブルク・フィルハーモニー管弦楽団 首席ホルン奏者 スタニスラフ・アビークさんと筆者（右）

平石先生は音楽大学を卒業された後、サンクト・ペテルブルク国立文化アカデミーの短期研修でアナトリー・スホルコフ氏に、次いでモスクワ音楽院でアナトリー・ジョーミン氏にホルンを師事されました。帰国後は横浜国立大学教育学部附属横浜中学校等を経て、2018年から神奈川県大和市立渋谷中学校にご勤務されています（編集部）

	呼びかけの動機	答え (①～④は模倣, ⑤は変化や対照)
譜例 ①		
譜例 ②		
譜例 ③		
譜例 ④		
譜例 ⑤	①～④から選択して呼びかける	即興的に創作して答える (Cへの手立て: ①～④から選択して答える)

譜例①～⑤は、Moderato・無伴奏の階名唱で、全員が譜例①の音価で手拍子を続けながら進行させます。

レッスン 1 譜例①を使います。全員での呼びかけに対して、一人で歌って答えます。正しい音価と音程で模倣できることと、大勢がいる中でも一人で歌える習慣を身に付けることが狙いです。



レッスン 2 譜例①～④を使います。ここでは4種類の動機のいずれかを全員で呼びかけて、呼びかけられた動機を一人で答えます。動機の実例は曲中に教師が譜例を示して指定します。さまざまな譜例のパターンを身に付けることが狙いです。学年によっては、ここまでで2ヶ月程度を要します。



レッスン 3 教師が譜例にない動機で呼びかけ、子どもは呼びかけられた動機で答えます。これはパターンにない動機に対して、すぐに反応して答えることが狙いです。教師の留意点は、動機を少しずつレベルアップさせることです。



レッスン 4 上の譜例⑤の部分です。ここでは呼びかけに対して、自由な答えを即興的にレスポンスします。得意な子どもは高度な旋律で答えますが、不得意な子どもは今までに使った答えの中から選択して答えさせます。相手に合わせて、譜例にない動機で呼びかけることも手です。なお、子どもの即興的な答えには、理論上の間違いが含まれることがあります。しかし、ここではある程度の間違いは、見逃すことが必要です。レッスン3と4は2年以上をかけて取り組みます。

※レッスン1～レッスン4の中からどれか一つを選び、クラス全員に順番が回るまで続けます。

ソルフェージュにおける リズムパターンの学習法

作曲家、東京工科大学非常勤講師 鈴木一真

私は以前、音楽高校で音楽大学の受験指導として、楽典、視唱、聴音を担当してきました。その際、生徒が少しでも効率良く学習ができるよう、音大受験の指導カリキュラムを研究し、音楽教育学会でも発表を行いました。今号ではその研究の中から“リズムパターンの学習法”をとりあげてみたいと思います。

“聴き分け”について

視唱や聴音において「音の高さがわからない、正確な音程で歌えない、音を書き取れない」という受験生の悩みをよく聞きます。これは音感（音の高さの弁別）の問題と考えられがちですが、実は旋律のもう一つの要素である「音の長さ」すなわち、リズムパターンの読譜が弱く、それが視唱や聴音の上達の“足かせ”になっているケースが多いようです。

音感、特に聴音におけるピアノの音高の聴き分けには、やはり絶対音感の有無が大きく関わります。したがって聴き分けられるようになるまである程度時間がかかりますが、リズムパターンの学習はやればやるだけ進歩し確実にマスターできます。ですから、まず視唱・聴音に用いられる主要なリズムパターンをマスターしてしまえば、“足かせ”がとれ、後は「音高、音程の聴き分け」に意識集中ができ視唱も聴音も上達しやすくなります。

27 のリズムパターン

私は2年分の「音楽大学入試問題集」の聴音入試問題を分析して、リズムパターンの出現頻度を調べました。拍子は、4/4、3/4拍子系と6/8拍子系の二系統ありますが、ここでは前者を取り上げることにします。右ページの七つの旋律の中に示されている①～⑦のリズムパターンは、音大入試における出現順位を表します。入試問題を2年分調べましたが、この出現順位にほとんど変化はありませんでした。

これらのリズムパターンは、聴音のみならず視唱課題においても、教科書教材においても、クラシックやポピュラー音楽においても頻繁に現れます。音楽を形作る根本素材といっても過言ではないかもしれません。ジャンルを問わず、楽譜の読み書きができるようになりたい人にとって、これらのリズムパターンの学習は大変有益なトレーニングになります。

STEP 1～STEP 7の七つの譜例は、分析に基づいて抽出した27のリズムパターンを2小節の旋律にちりばめたもので、全て音階（順次）進行でできています。これは「音の高さ」の変化をできるだけ平易にして「音の長さ」すなわちリズムパターンに集中できるようにしたためです。音が跳躍しないので、音符を読みやすく、かつ声に出して歌いやすい利点があります（STEP 1からSTEP 7まで、難易度順にステップアップするように設定しています）。

リズムパターンの学習の基本は、まず基本拍（四分音符）とその分割パターンを理解することにあります。その意味ではSTEP 1とSTEP 2は初級編といえます。次のSTEP 3とSTEP 4は中級編で、拍を越えるリズム、2拍単位のリズムが現れます。そしてSTEP 5とSTEP 6は上級編です。視唱もそうですが、聴音において学習者が苦勞するのはタイの聴き分けです。タイを聴き分けるためには、まず心の中でしっかりと基本拍がキープできなければならないからです（さもないと拍を見失ってしまいます）。聴音上達のカギは、まさにこの内なる拍子感覚とテンポキープにあります。

STEP 1 ♩ = 60



STEP 2



STEP 3



STEP 4



STEP 5



STEP 6



STEP 7



STEP 7はの中では最高難度です。十六分音符レベルのタイ・休符、および三連符のタイ・休符が出てきます。8ビート、16ビートの内なるテンポ感が必要で、更には十六分音符レベルで、タイと休符の違い（音がつながっているか、切れているか）を聴き分ける耳も必要になります。

Let's Try !

まずSTEP 1の課題から「リズム読み」をします。「リズム読み」とは、音程をつけず、楽譜通り、リズム通りに階名を読んでいく作業です。その際、テンポが不安定になったり、リズムが甘くなったりしがちですので、全ての音をスタッカートで、短くキビキビと読むことをお勧めします。手や足でしっかり拍をとりながら読むと、正確なテンポとリズムを体得することができます。

リズム、読譜、記譜の実力は、音感よりはるかに短い期間で習得が可能です。リズムパターンを早期にマスターしておくことと視唱、聴音においても、音高や音程の判別に集中できるようになりますので、音感の発達も早くなります。現在、私がソルフェージュを教えている大学（音楽専攻ではありません）の受講生の多くは、「楽譜を読めるようになりたい」「ヒアリングコピーができるようになりたい」という希望を持っています。リズムパターンの学習は学生のこういったニーズにも対応しています。例えば、メロディーを楽譜に起こすとき、曲を聴きながらキーボードで音を探れば音の高さはわかります。しかし音の高さがわかって、リズムパターンの書き方がわからなければ、メロディーを譜面に書き表すことはできません。そう考えるとこのリズムパターンの学習は、楽譜の読み書きに慣れていない学生や生徒にとって極めて効果的なメソッドです。私は大学の授業で、期末に自分の選んだ曲をヒアリングコピーして提出する課題を出していますが、第一回目の授業で音符の書き方がわからなかった学生が、3か月後には自分の好きな楽曲をヒアリングコピーして楽譜を作成できるようになっています。その姿を見ると本当にうれしい気持ちでいっぱいになります。

音楽はメッセージ

With My Heart 稽古場を訪ねて

邦楽囃子笛方 福原 徹さん

2019年2月、東京都内にあるリハーサルスタジオには福原徹さんをはじめ、尺八の善養寺恵介さん、太棹三味線の鶴澤津賀寿さん、そしてピアノの中川俊郎さんの名手4人が集まり、4月に予定されている演奏会「徹の笛」に向けた稽古が行われました。

今号ではその様子をレポートいたします。



「徹の笛」は福原徹さんが企画されている公演で、今回で第十回を数えます。昨年の第九回では、シェイクスピア作、坪内逍遙訳「ハムレット」を題材に、福原さんが作曲をした作品を取り上げ（ハムレットは能楽師の小早川修さんが務められました）、その前年第八回ではバッハ作曲「シャコンヌ」（無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番より）を中川俊郎さんと奏しきるなど、毎回大変に趣向を凝らしたプログラム、かつ“笛の限界に挑む”といっても過言ではない演奏が繰り広げられてきました。



この日は2004年第二回「徹の笛」の際に作曲・初演され、それ以降、構成や編成を改変しつつ15年にわたってあたためられてきた「千年の桜」、第一章「満開の桜」の音出しです。



一度通した後、楽譜に指定されている奏法の確認



ぜんようじ
善養寺恵介さん
二尺四寸管です（洋乐的にいうと
A 管に相当）



つがじゅ
鶴澤津賀寿さん
太棹（義太夫三味線）です



としお
中川俊郎さん
唯一の洋楽器ですが、3 種の和楽器
とのみごとな調和は、驚異的でした。



再度通した後、作曲者から要望を伝達



演奏家同士で納得いくまで打ち合わせます



「千年の桜」第一章「満開の桜」は、日本三大桜の
一つといわれている三春滝桜^{みはるたきざくら}＊をイメージして作曲さ
れたそうです。

プログラムはこの他「樹々の密」（六世福原百之助
作曲）、「みち」（蓬萊泰三作詞、福原徹作曲）、「Dona
nobis pacem」（福原徹作曲。福原さんがかつて在籍し
た NHK 東京児童合唱団との共演）、「獅子」（笛独奏）
となっています。

＊国の天然記念物。福島県三春町にあり、推定樹齢 1000 年以上、
高さ 13.5 メートル、根回り 11.3 メートル。

第十回 福原徹 演奏会 徹の笛

日時 2019年4月27日(土) 午後3時開演 場所 紀尾井ホール(東京都千代田区紀尾井町6-5)

お問い合わせ 「徹の笛」実行委員会
(日本伝統音楽振興会内)

Tel : 090-1814-9668 E-mail : kro3@nifty.com

KOBEYA通信

第1回

教育出版 音楽科の Web 特設サイト「音楽の小部屋」。楽しみながら音楽を学べるコンテンツを更新中です。2018年6月に開設し、おかげさまで多数のアクセスをいただいております。

「音楽の小部屋」を更にお楽しみいただくために、今号から数回に分けてその全貌を詳しくご紹介したいと思います！

「音楽の小部屋」とは？

コラムが読める 音楽の本棚

教科書の著者によるコラム、オーケストラや楽譜についての豆知識を読むことができます。

動画が見れる 小部屋TV

教科書の活動を補足する動画のほか、作曲家からのメッセージや日本の音楽の基礎を学べる動画などを視聴できます。

教育出版音楽科の情報を まとめてCHECK

「音楽の小部屋」から小学校・中学校・高等学校の教授資料ページや、教材ページにアクセスできます。

こちらから
アクセス
できます。



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/docs/music/kobeya/index.html>

第1回は…「小部屋 TV」を詳しくご紹介！



Point

- 動画は、教材研究や日々のご授業にもご活用いただける内容です。
- 小学校、中学校、高等学校を通じてご活用いただける動画もご用意しています。
- スマートフォンからもご視聴いただけます。

活用例

Q1

合唱曲『ぶどう摘み』を授業で扱いますが、参考になる情報はありますか？



「自作を語る」では、作曲家自身のコメントを公開しています。

作曲家の新実徳英先生に、作曲秘話や演奏のポイントを語っていただきました。『あなたはどこへ』『たんぽぽ』についてのコメントもご視聴いただけます。

Q2

長唄の歌唱方法を教えたい。入門に適した動画はありますか？



「日本の音楽に挑戦！ 長唄編」では、基礎から長唄の歌唱を学べます。

「日本の音楽に挑戦！」は、俳優の相原光希さんが、和楽器や日本の伝統的な歌唱に初挑戦するシリーズです。長唄編は杵屋佐喜先生をお迎えして、長唄の歴史や基礎的な歌唱をご指導いただけます。



新着動画紹介(中学校)

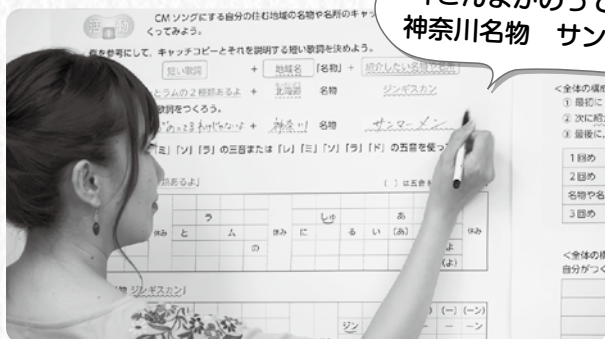


「CMソングをつくろう Vol.1~3」

中学音楽2・3下『音楽のおくりもの』に掲載している「CMソングをつくろう」の活動例を紹介する動画です。CMソングづくりに挑戦するのは、シンガーソングライター 工藤江里菜さん(右)と、歌って踊れるマネージャー 工藤亜妃菜さん(左) 姉妹です。この動画の見どころをご紹介します。

1 演奏と結びついた創作

考えたリズムや旋律は、工藤姉妹がすぐに実演。
「もっとこうしたらいいかな?」
「こっちの方がいいね」といった実際の授業に近い会話を交えながら、曲をつくりあげる過程を追うことができます。



2 教科書の紙面と連動

教科書の紙面に書き込みながらつくるので、活動の手順がよくわかります!

その他の新着動画

- 1 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう Vol.1~2
- 2 「お菓子な大行進」ができるまで Vol.1~2
& 「お菓子な大行進」(実演)

*下のQRコードはVol.1へリンクしています。



1



2

工藤江里菜さんのオリジナルソング
「お菓子な大行進」もぜひお楽しみください!

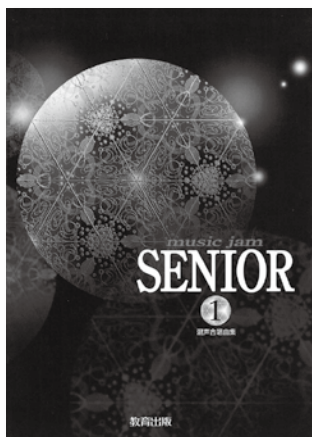


* + ✨ 次回の「KOBeya 通信」もお楽しみに! ✨ + *

混声合唱曲集 music jam SENIOR シリーズ好評発売中！

※価格は全て税込み

music jam SENIOR 1



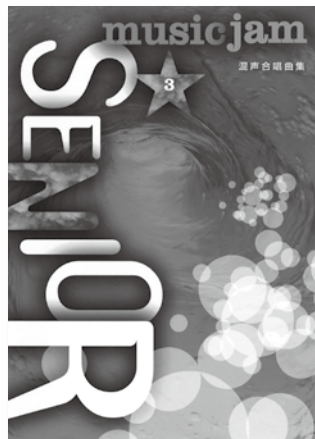
「ドアを開けて」 及川眠子 作詞 大澤徹訓 作曲
 「秋の夕陽」 柴田陽平 作詞 松下 耕 作曲
 「いのちの名前」 覚 和歌子 作詞 久石 譲 作曲
 「流れる水のように」 山川 啓介 作詞 三善 晃 作曲 他
 B5判 全 15 曲 1,008 円 範唱 / カラピアノ CD 3,086 円

music jam SENIOR 2



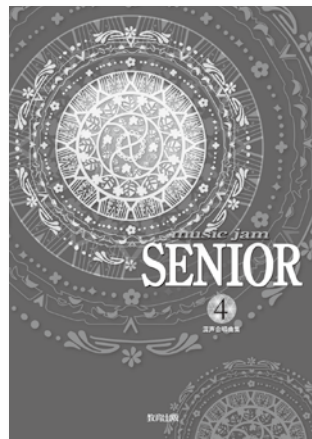
「こころよ 自由に」 新川和江 作詞 鈴木輝昭 作曲
 「春に」 谷川俊太郎 作詞 木下牧子 作曲
 「一本の宇宙樹があった」 片岡 輝 作詞 新実徳英 作曲
 「ラ・メール」 尾崎昭代 作詞 三善 晃 作曲 他
 B5判 全 13 曲 1,008 円 範唱 / カラピアノ CD 3,086 円

music jam SENIOR 3



「Home」 アンジェラ・アキ 作詞・作曲
 「You can fly!」 小林真人 作詞・作曲
 「Beautiful days」 Takuya Harada 作詞・作曲
 「大丈夫」 松本有加・JIMAMA 作詞 JIMAMA 作曲 他
 B5判 全 10 曲 1,008 円 範唱 / カラピアノ CD 2,571 円

music jam SENIOR 4



「飛び立とう君の空へ」 牧原ひつじ 作詞 森谷風太 作曲
 「My Dear」 鈴木須美子 作詞 赤尾 暁 作曲
 「風の手紙」 トモ子 作詞 新実徳英 作曲
 「さかさ眼鏡」 新美桂子 作詞 伊左治 直 作曲 他
 B5判 全 9 曲 1,026 円 範唱 / カラピアノ CD 2,700 円

お問い合わせ：☎ **03-3238-6908** FAX **03-3238-6999**
 右の QR コードから web サイト曲集・CD のページへアクセスいただけます。





第17回

地球となかよし メッセージ

作品募集 (2019年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2019年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品 テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境 や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交 流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催／教育出版 ◎協賛／日本環境教育学会
◎後援／環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
※協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



教育出版

「地球となかよし」事務局

TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

入
選
作
品



地球を救う花

この地球を救う花は、まずお花なので二酸化炭素を吸って、酸素を出します。それに葉と花びらは太陽光パネルになっているので、発電も出来ます。さらに花びらの部分が風で回って、風力発電も出来る花です。

みんなが大好きな自然と地球が私達の何代も先の未来でも、愛されて続けるように、こんなお花が地球中にたくさん色鮮やかに咲くいいと思いました。(中学3年)

中学・高校音楽通信 **Spire_m** (2019年 春号) 2019年3月31日 発行

表紙写真：福原 徹，中川俊郎

編集：教育出版株式会社編集局 発行：教育出版株式会社 代表者：伊東千尋

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

03-3238-6864 (内容について)

URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

03-3238-6901 (配送について)



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL : 011-231-3445 FAX : 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F TEL : 0138-51-0886 FAX : 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL : 022-227-0391 FAX : 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL : 052-262-0821 FAX : 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL : 06-6261-9221 FAX : 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL : 082-249-6033 FAX : 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL : 089-943-7193 FAX : 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室 TEL : 092-433-5100 FAX : 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL : 098-859-1411 FAX : 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」の通り、配付を許可されているものです。